

2024 年度（対象年度：2023） 自己点検・評価シート

基準 1 理念・目的

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
102	オリエンテーション期間中の新入生本願寺団体参拝に代えた実施方法を今年度中に取りまとめ、次年度から実施する。

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。
・新入生の本願寺参拝のあり方を取りまとめ、実施に移していく。【留意点】
・仏教活動奨励金の応募者数を増やすことについて検討を行う。【留意点】

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価 現状
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定し、公表しているか。 大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにし、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。 ①建学の精神の設定とその内容 ・目指すべき方向性 ・育成する人間像	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
①建学の精神を、ホームページ（101 ア）、学生手帳（101 イ）、出講手帳（101 ウ）、冊子「龍大はじめの一步」（101 エ）に掲載している。また随時、深草学舎顕真館前および瀬田学舎樹心館前に掲示（101 オ）している。
②建学の精神にもとづいた教育理念・目標を定めている。（101 カ）
長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの

項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 * 伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み * 成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
101	仏教活動奨励金について、応募件数を追うのではなく学生活動の実行性を高めることを企図して、期限を区切らず随時相談・助成する方法に変更した。これにより、経費だけでなく活動に対する助言を手厚くすることができた。(101 キ)

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101	団体での新入生本願寺行事は実施せず、学生が「仏教の思想」の授業において龍谷ミュージアムを訪問することにあわせ、本願寺を訪問するように変更することとした。後期の実施に向けて、学生の協力を得てコンテンツの作成を進める。(101 ク)

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	ア	101 ア：建学の精神（HP）.pdf【ウェブ】
101	イ	101 イ：学生手帳.pdf
101	ウ	101 ウ：出講手帳.pdf
101	エ	101 エ：はじめの一步.pdf
101	オ	101 オ：建学の精神の揭示.pdf
101	カ	101 カ：教育理念・目標.pdf
101	キ	101 キ：2023 年度実施事業（報告）.pdf
101	ク	101 ク：本願寺参拝（第 37 回部局長会）.pdf

II. 評価結果

総評
101① 大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を設定し、学則等に適切に明示している。さらに、それらを教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していると評価できる。建学の精神の浸透・深化を図るための取り組みに関して、前年度は、「新入生の本願寺参拝のあり方を取りまとめ、実施に移していく」と「仏教活動奨励金の応募者数を増やすことについて検討を行う」の2点が【留意点】として指摘されていた。前者は、「仏教の思想」の授業と連携して、学生の本願寺への訪問が再開されることになった。後者は、応募件数ではなく活動に対する助言を手厚くするといった方針に変更した。以上、前年度までの取り組みの上での課題は改善されつつあると評価できる。
長所・特色《箇条書き》
なし

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
なし

2024 年度（対象年度：2023） 自己点検・評価シート

基準 1 理念・目的

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101③	「3 つの方針検証委員会」を中心とした教育活動の検証・改善体制のもとでの継続的な確認、見直し

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》	*各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。
なし	

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の 4 段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価 現状
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定し、公表しているか。 ①大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにし、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
101① 建学の精神と関連した「龍谷大学の教育理念・目的」を設定している [101 ア]。大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の関連性を担保するため、「学部・研究科の『教育理念・目的』と 3 つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」）策定にかかる基本方針を設定している [101 イ]。各学部・研究科では、これら方針に基づき、学部・研究科単位で、人材育成その他の教育研究上の目的を示した「教育理念・目的」を設定し、そのもとに 3 つの方針を定めている。 「教育理念・目的」は、学部において学部単位で、短期大学部及び大学院研究科においては、学科（専攻）単位で学則に明示している [101 ウ・エ・オ]。

また、教育理念・目的等については、各学部・研究科の履修要項 [101 カ・キ] や学生手帳 [101 ク]、出講手帳 [101 ケ]、大学ホームページ [101 コ] で明示しており、教職員・学生や対外的にも適切に公表している。周知の方法については、教員については年度始めの教授会や研究科委員会において、学生に対しては履修登録説明会等でなされている。

「教育理念・目的」については、「教育理念・目的」、「学位授与の方針」、「学生に保証する基本的な資質・能力」、「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」と合わせて、「3 つの方針検証委員会」および大学院教学会議において、全学的な見地からの確認及び修正を行っている [101 サ・シ]。

以上のことから、大学の理念・目的を踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定、公表していると評価する。

長所・特色《箇条書き》＊先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの

101① 「教育理念・目的」については、履修要項・学生手帳・出講手帳・大学 HP など多様な方法で公表し、年度始めの教授会や研究科委員会等で確認している。

課題事項《箇条書き》 ＊伸長すべき点、改善すべき点

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み ＊成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

101① 学部・研究科の「教育理念・目的」については、毎年度初めの教授会等で変更の有無について確認がなされ、適切性が確認されている。また、「教育理念・目的」等の変更にあたっては、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し、学部については履修要項の共通原稿を作成するなどして確認を行っている。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101①	「3 つの方針検証委員会」および「大学院教学会議」を中心とした教育活動の検証・改善体制のもとでの継続的な確認、見直し

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	ア	龍谷大学の教育理念・目的【ウェブ】
101	イ	学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」）策定の基本方針【ウェブ】
101	ウ	龍谷大学学則（抜粋）
101	エ	龍谷大学大学院学則（抜粋）
101	オ	龍谷大学短期大学部学則（抜粋）
101	カ	2023 年度各学部履修要項
101	キ	2023 年度各研究科履修要項
101	ク	2023 年度学生手帳
101	ケ	2023 年度出講手帳

101	コ	大学の教育理念・目的、学部・研究科の「教育理念・目的」【ウェブ】
101	サ	2023 年度第 2 回 3 つの方針検証委員会資料
101	シ	2023 年度第 10 回大学院教学会議資料

II. 評価結果

総評
101① 本学は、大学の理念・目的を踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定、公表していると評価できる。また、「教育理念・目的」、「学位授与の方針」、「学生に保証する基本的な資質・能力」、「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」の変更については、「3 つの方針検証委員会」および大学院教学会議において、全学的な見地からの確認及び修正を行っていることは評価できる。
長所・特色《箇条書き》 ・「3 つの方針検証委員会」で、「教育理念・目的」、「学位授与の方針」、「学生に保証する基本的な資質・能力」、「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」について、全学的な見地からの確認および修正を行っている。 ・「教育理念・目的」については、履修要項・学生手帳・出講手帳・大学 HP など多様な方法で公表し、年度始めの教授会や研究科委員会等で確認している。
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
なし